

五戸総合病院の研修を終えて

令和 6 年度 4 月研修医

青森市民病院 初期研修医 谷田幸陽

青森市民病院の研修プログラムにおける地域医療研修として、令和 6 年度 4 月の 1 ヶ月間を五戸総合病院で研修させていただきました。1 ヶ月という短い期間ではございましたが、快く受け入れてくださり本当にありがとうございました。

今回の研修では、内科外来での診察や処置、病棟管理、訪問診療だけでなく、手術では麻酔管理も経験させていただきました。疾患としては急性期から慢性期まで、多様な方々の診療に携わることができました。

内科外来業務では、いかに丁寧かつ効率よく診療を行えば良いのか、実際に直面することでその難しさや大切さを学ぶきっかけになりました。また、普段は急性期病院で研修していることもあり、リハビリ入院の方などの自宅退院までの過程などを看る機会が少なかったのですが、五戸総合病院での病棟業務や訪問診療では、患者背景も含め、より身近に診療している地域に根差した医療に触れることができ、その大切さを実感しました。

手術での麻酔管理では責任をもって務めさせていただき、その奥深さや怖さ、面白いところなどを経験できる良い機会となりました。

また五戸総合病院では医師の数が少なく、病院長の安藤先生が一人で内科・外科の患者さんに主治医として対応し、内視鏡や手術、麻酔管理まで、幅広く業務を担っていることに驚かされました。医師の数が足りていない地域の医療に携わるうえで、自分の専門だけではなく、様々なスキルを持つということは大きな武器になるとも思われました。

最後になりましたが、右も左も分からない未熟な私ですが、五戸総合病院の医療スタッフの方々に優しく丁寧な指導をして頂いたおかげで、医師として成長でき非常に実りのある研修を行うことができました。またたくさんの楽しい思い出もでき、五戸の良さも感じられる充実した 1 ヶ月となりました。今回の研修を糧にこれからも成長できるよう頑張りたいと思います。安藤先生をはじめ、諸先生方、コメディカルスタッフの皆さま、本当にありがとうございました。